

社会学研究科研究指導計画

◎博士課程（博士論文完成に向けたタイムスケジュール）

1年次

- ・ 指導教員と協議しながら博士論文の構想の概要をまとめ、博士論文に向けた情報の収集に着手する。
- ・ 査読付きの学会誌・紀要への投稿のための論文の執筆にとりかかる。7月に行われる「社会学総合演習 A」の執筆論文を提出し、学術論文執筆の要領を学ぶ（2年次以降でも可）。
- ・ 1月下旬に行われる「社会学総合演習 B」に参加し、博士論文の構想について報告する。
- ・ 「社会研究1」を履修して、英語での論文執筆のスキルを学ぶ（2年次以降でも可）。

2（～3）年次

- ・ 指導教員と協議しながら博士論文の執筆を進め、そのための情報の収集を行う。
- ・ 査読付き学会誌・紀要に論文を掲載する（査読付き学会誌・紀要に少なくとも一本論文を掲載することが、博士論文提出の条件である）。できるだけ多くの論文を執筆し、査読付き論文の数を増やす。
- ・ 1月下旬に行われる「社会学総合演習 B」に参加し、博士論文にむけた研究の進捗状況を報告する。

3（～6）年次

- ・ 指導教員と協議しながら博士論文を完成させる。
- ・ 指導教員と打ち合わせの上、学位申請を行う（事務窓口にて）。
- ・ 博士論文提出後設置される受理小委員会からのフィードバックを受けて、論文の最終修正を行う。
- ・ 審査小委員会が主宰する公開の口頭試問を受ける。